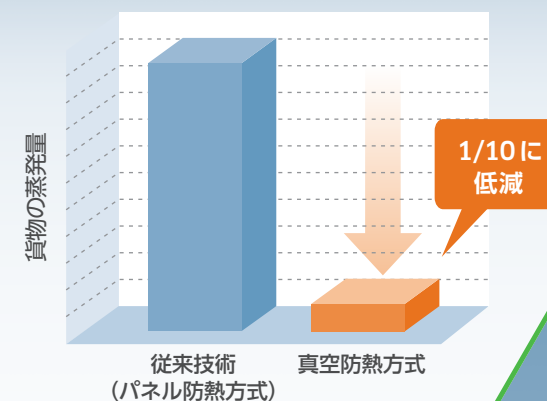


液化水素運搬船用 真空防熱二重殻 タンクシステム

防熱性能を大幅に向上

真空防熱方式を採用し、タンクへの入熱を大幅に削減しました。
液化ガス運搬船の従来技術（パネル防熱方式）と比較して、
同じ貨物を積載した場合の貨物蒸発量を1/10に低減しました。



2025
Kawasaki
Ecological Frontiers
S class

2022年：初回登録

川崎重工業株式会社

タンクドーム

外槽サドル

内槽サドル

タンクシステム

提供：HySTRA

外槽

内槽

真空槽

製品紹介

液化水素運搬船“すいそふろんていあ”に搭載した世界初の海上輸送用の液化水素タンクです。
タンク容量：1,250m³

特長

- 内槽・外槽を有する二重殻構造
- 極低温・水素環境に適合するオーステナイト系ステンレス鋼を採用
- 内槽を支える内槽サドルの素材には熱伝導率の低いGFRP※を採用
- 蓄圧式タンクとすることで、蒸発ガスを放出せずに輸送可能
- 300℃近い内外槽間の温度差（液体水素 -253℃と常温の差）による相対変位を吸収する機構

※GFRP：Glass Fiber Reinforced Plastic（ガラス繊維強化プラスチック）